

私を導いてくれたあなたへ

カン・メイ・ボン

もしあの頃の自分に会えるなら、どんな言葉をかけたいのか――

その思いを、今日は皆さんと共有したいと思います。

子どものとき、よく聞かれた質問はありませんか。私にとっては、「大人になったら何になりたいですか」という質問でした。この質問の答えは何だと思いますか？私の国ミャンマーでは、「医者になりたい」という答えが一番望ましい答えだとされています。私も聞かれたとき、そう答えていました。小学生の時も、中学生の時も、『医者になりたい』と言っていました。

でも、高校生になって、ある日「私は医者になりたくない」と気づいたのです。さらに悪いことに、何になりたいのかも全然わかりませんでした。私の国では高校の2年間で人生の中で最も大事な時期です。その2年間に将来のことを決めて、大学入学試験を受けます。周りの同級生たちがもう自分の道を決めて入学試験に向けて頑張っていた時、私は迷っていて毎日不安でした。

私は自分を見つけたくて、勉強も頑張って、学校の色々なイベントも参加して、ボランティア活動もして何でもやってみました。いつか本当の夢が見つかると思っていた。それでも、私はゴールのないマラソンを走っているようでした。高校を卒業した後、両親にすすめられた大学に入りました。大学でも勉強したけど、心の中ではまだ迷っていました。

そして、2021年2月、大学卒業する一学期まえ、私の国で軍事クーデターのせいで、退学させられました。その時の私は、絶望と不安でいっぱいでした。卒業して就職すると思っていた私にとっては、それは、人生で一番辛い時でした。

そんな時、ある日、新聞奨学生という機会がありました。新聞奨学生とは、新聞配達をしながら学費や生活を支援してもらえる制度です。私はもう一度最初から始めようと決めて2022年4月1日に新聞奨学生として日本へ来ました。毎日2回新聞を配りながら、日本語学校に通いました。そして日本語学校を卒業して、私は横浜国立大学に入学しました。

今、私は素晴らしい横国で学び、優しくてすごい先生たちに教えられ、たくさんの面白い友達たちと出会い、色々な経験をしています。毎日幸せです。それに私の夢も見つけました。

今の私は昔の自分に伝えたいことがいっぱいあります。一番言いたいのは『ありがとう、もう心配しなくてもいいよ』というメッセージです。10年前のカンさん、迷いながら、不安で困りながらも一生懸命努力してくれてありがと

う。迷ってもいい。分からなくてもいい。どんな経験も、どんな辛い時間も、
全てはあなたを導くためにある。たくさん挑戦して、いろいろな経験をしてく
れたおかげで、夢を見つけ、幸せを手に入れました。心配しなくてもいいよ。
あなたのおかげで、私はここにいます。ありがとう。